



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン  
 コード番号 7732 URL <http://www.topcon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 経理本部長 (氏名) 秋山 治彦 (TEL) 03-3558-2536  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家・メディア向け)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	91,542	3.3	4,244	△46.7	3,288	△55.4	1,192	△72.7
27年3月期第3四半期	88,647	11.8	7,963	38.8	7,372	23.0	4,375	94.8

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 927百万円(△88.8%) 27年3月期第3四半期 8,308百万円(78.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	11.04	—
27年3月期第3四半期	40.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	162,516	63,702	38.2	574.85
27年3月期	143,181	64,610	44.3	587.52

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 62,091百万円 27年3月期 63,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年3月期	—	12.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	133,000	3.4	12,500	△22.1	11,000	△26.1	6,000	△30.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) Digi-Star Investments, Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	108,085,842株	27年3月期	108,085,842株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	72,994株	27年3月期	72,296株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	108,013,088株	27年3月期3Q	108,014,139株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競争状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における経済環境は、米国および欧州では個人消費を中心とした内需の堅調さはあったものの、海外経済の減速による輸出減等のため景気の成長力が鈍化しております。また中国や新興国市場でも資源価格の下落等により景気の減速感が強まっております。

日本においても新興国の減速に伴う輸出減や設備投資の減少等があり、景気回復の動きに弱さがみられます。

このような経済環境にあつて当社グループは、“TOPCON WAY”の思想に基づいた企業風土の改革を進め、また、“Creativity & Growth”「創造力と成長」のスローガンのもと、独創的な発想により成長市場で事業を拡大し、利益ある持続的成長を実現するために取り組んでまいりました。

こうした中で、当第3四半期の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

売上高は、米国・欧州およびアジアでの増加や為替の影響等により91,542百万円となり、前年同期と比べ3.3%の増収となりました。

利益面では、売上高の増加等による増益はあったものの、IT農業市場の停滞や、事業領域拡大のための製品開発並びに基幹システム強化への資源投資による経費の増加等により、営業利益は4,244百万円（前年同期と比べ△46.7%の減益）、経常利益は為替の影響等により3,288百万円（前年同期と比べ△55.4%の減益）となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,192百万円（前年同期と比べ△72.7%の減益）となりました。

#### (事業セグメント毎の経営成績)

スマートインフラ・カンパニーでは、アジアで伸長した一方、公共事業の一時的鈍化等のため日本で減少したことにより、売上高は23,089百万円となり、前年同期と比べ△0.8%の微減となりました。営業利益は、新製品発売に向けた研究開発費用や新基幹システム稼働による経費の増加等の影響により、2,436百万円の利益となり、前年同期と比べ△25.9%の減益となりました。

ポジショニング・カンパニーでは、米国および欧州が伸長したことにより、売上高は44,711百万円となり、前年同期と比べ12.6%の増収となりました。営業利益は、この売上高の増加等による増益はあったものの、農業市場における穀物価格下落によるIT農業市場の停滞や、新規事業領域での研究開発費用の増加等により、1,108百万円の利益となり、前年同期と比べ△68.0%の減益となりました。

アイケア・カンパニーでは、米国、中国およびアジアで増加したことにより、売上高は29,305百万円となり、前年同期と比べ1.2%の増収となりました。営業利益は、この売上高の増加や高収益製品の好調な販売の寄与等により2,571百万円の利益となり、前年同期と比べ5.4%の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 当第3四半期の財政状態の状況

当第3四半期末の財政状態は、総資産が162,516百万円、純資産が63,702百万円、自己資本比率が38.2%となりました。

総資産は、主に「商品及び製品」等のたな卸資産や「のれん」が増加したこと等により、前年度末（平成27年3月期末）に比べ、19,334百万円増加いたしました。また、純資産は、為替の影響による「為替換算調整勘定」が減少したこと等により、907百万円減少いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前年度末（平成27年3月期末）に比べ、6.1%減少いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきまして、平成27年10月30日に公表いたしました前回予想を以下のように修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年1月29日）公表いたしました「平成28年3月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

平成28年3月期通期（累計）連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想(A)	143,000	19,000	17,500	10,800	99.99
今回修正予想(B)	133,000	12,500	11,000	6,000	55.55
増減額(B-A)	△10,000	△6,500	△6,500	△4,800	△44.44
増減率(B-A)÷A	△7.0%	△34.2%	△37.1%	△44.4%	△44.4%
(ご参考)					
前年度実績(C)	128,569	16,041	14,880	8,670	80.27
増減率(B-C)÷C	3.4%	△22.1%	△26.1%	△30.8%	△30.8%

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間において、Digi-Star Investments, Inc.の株式を取得したことに伴い連結子会社としております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点  
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,507	15,457
受取手形及び売掛金	43,210	32,644
商品及び製品	19,646	26,593
仕掛品	4,286	1,932
原材料及び貯蔵品	6,695	11,766
その他	11,928	15,136
貸倒引当金	△1,328	△1,481
流動資産合計	100,946	102,049
固定資産		
有形固定資産	12,159	13,669
無形固定資産		
のれん	8,555	18,163
その他	12,525	18,086
無形固定資産合計	21,081	36,250
投資その他の資産	8,994	10,547
固定資産合計	42,235	60,466
資産合計	143,181	162,516
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,034	11,904
短期借入金	30,105	27,509
未払法人税等	2,518	646
製品保証引当金	832	831
その他	12,302	10,313
流動負債合計	57,794	51,204
固定負債		
社債	—	20,000
長期借入金	13,908	19,708
役員退職慰労引当金	48	45
退職給付に係る負債	5,481	5,361
その他	1,336	2,492
固定負債合計	20,775	47,608
負債合計	78,570	98,813

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,638	16,638
資本剰余金	20,950	20,950
利益剰余金	25,030	24,053
自己株式	△60	△62
株主資本合計	62,558	61,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	763	613
繰延ヘッジ損益	△163	2
為替換算調整勘定	1,341	728
退職給付に係る調整累計額	△1,040	△832
その他の包括利益累計額合計	901	511
非支配株主持分	1,150	1,611
純資産合計	64,610	63,702
負債純資産合計	143,181	162,516

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	88,647	91,542
売上原価	44,440	44,825
売上総利益	44,206	46,716
販売費及び一般管理費	36,242	42,471
営業利益	7,963	4,244
営業外収益		
受取利息	54	60
受取配当金	34	37
持分法による投資利益	63	—
為替差益	414	—
その他	166	181
営業外収益合計	732	278
営業外費用		
支払利息	867	725
持分法による投資損失	—	34
為替差損	—	149
出向者関係費	278	—
その他	178	324
営業外費用合計	1,324	1,234
経常利益	7,372	3,288
特別利益		
投資有価証券売却益	—	216
特別利益合計	—	216
特別損失		
投資有価証券評価損	—	339
特別退職金	—	148
特別損失合計	—	488
税金等調整前四半期純利益	7,372	3,017
法人税、住民税及び事業税	2,323	1,855
法人税等調整額	559	△195
法人税等合計	2,883	1,659
四半期純利益	4,489	1,357
非支配株主に帰属する四半期純利益	114	164
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,375	1,192

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	4,489	1,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173	△149
繰延ヘッジ損益	△168	165
為替換算調整勘定	3,534	△648
退職給付に係る調整額	225	207
持分法適用会社に対する持分相当額	54	△5
その他の包括利益合計	3,819	△430
四半期包括利益	8,308	927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,057	802
非支配株主に係る四半期包括利益	251	124

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					消去及び 全社	合計
	スマートインフラ・ カンパニー	ポジショニング・ カンパニー	アイケア・ カンパニー	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,326	37,333	28,951	5,036	88,647	—	88,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,949	2,365	—	23	8,337	△8,337	—
計	23,275	39,699	28,951	5,059	96,985	△8,337	88,647
セグメント利益 (営業利益)	3,287	3,463	2,439	98	9,289	△1,325	7,963

(注)「セグメント利益」の「消去及び全社」の額△1,325百万円は、各報告セグメントに配分していないのれんの償却額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					消去及び 全社	合計
	スマートインフラ・ カンパニー	ポジショニング・ カンパニー	アイケア・ カンパニー	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,567	41,384	29,305	4,284	91,542	—	91,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,521	3,327	—	0	9,849	△9,849	—
計	23,089	44,711	29,305	4,285	101,392	△9,849	91,542
セグメント利益 (営業利益)	2,436	1,108	2,571	79	6,195	△1,951	4,244

(注)「セグメント利益」の「消去及び全社」の額△1,951百万円は、各報告セグメントに配分していないのれんの償却額であります。

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	消去及び 全社	計
売上高								
外部顧客への売上高	24,405	31,030	22,934	3,716	4,850	1,709	—	88,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,549	7,713	1,317	3,250	1,384	—	△29,215	—
計	39,955	38,744	24,251	6,966	6,234	1,709	△29,215	88,647
セグメント利益 (営業利益)	3,670	4,411	622	248	△44	73	△1,018	7,963

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	消去及び 全社	計
売上高								
外部顧客への売上高	20,396	33,101	25,655	3,709	6,951	1,727	—	91,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,445	9,466	2,063	5,413	1,182	—	△36,571	—
計	38,841	42,567	27,718	9,123	8,134	1,727	△36,571	91,542
セグメント利益 (営業利益)	3,108	2,926	383	472	357	53	△3,057	4,244

(注) 1 売上高及びセグメント利益は当社並びに当社子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「その他」の区分に所属する地域は中東であります。

## 〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	計
海外売上高	21,082	22,346	5,600	9,198	8,326	66,554
連結売上高						88,647
連結売上高比(%)	23.8	25.2	6.3	10.4	9.4	75.1

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位：百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	計
海外売上高	25,319	24,586	5,925	10,804	6,247	72,885
連結売上高						91,542
連結売上高比(%)	27.7	26.9	6.5	11.8	6.8	79.6

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「その他」の区分に所属する主な国又は地域の内訳は以下のとおりであります。

中南米、中東、ロシア、アフリカ